

第2期計画からの修正（概要）及び素案からの修正箇所一覧 ※誤字等の修正は割愛

項目	訂正箇所	訂正前	訂正後	備考
18p	白馬村の課題		朝食の欠食は～文の追加。	朝食の必要性を強調するいいアイデアがあればいただきたい。
18p～	各所	早起き、早寝、あさごはん	早寝、早起き、あさごはん	夜遅くても早起きからとの意図だったが、1日の流れと考えるとなじみのない言葉なので修正。
第4章	目標に向けた取り組み	目標別の取り組み	ライフステージ別の取組み	ライフステージごとに「目指すべき姿」を記載。
		5年間推進テーマ	削除	目標が乱立しわかりにくいという意見が多かった。
	目標値の設定（全体）	目標値 維持、低下	目標値を設定	数的に設定した方が分かりやすい。同規模と比べ優位な数字のものは維持等で表記。
	目標値の設定 評価指標	肥満傾向児（肥満度 20以上）中学生	削除	成長期のため全体の割合よりも個々での慎重な判断が必要。
		糖尿病が強く疑われる（HbA1c6.1%以上または服薬等治療中）	糖尿病が強く疑われる人（HbA1c6.1%以上）	高齢者について服薬の質問がなくなり、割合にずれが生じる。服薬していてもコントロール良好の場合は問題なしと考える。
		児童生徒未処う歯	ゆっくりよく噛んで食べる人の割合	健康増進計画で目標にあるので、ここでは食に直接的な目標とした。国と県の目標に合わせる。
		歯や口の悩みのない方		
		運動習慣	削除	
		間食について	削除	間食は取り方により問題にならないため
		栄養バランスに配慮した食生活を実施～	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が～	質問の表記をそのまま記載。
			普段から減塩を意識している人の割合	長野県の塩分摂取量が多いため
		夕食を家族そろって又は家族の誰かと食べる	朝食又は夕食を誰かと食べる人の割合	朝食も食育の場になる。朝食・夕食合わせて考えるべき。家庭の形の多様性を加味。
			環境に配慮した～	国、県の計画目標に合わせて追加
			食品ロス削減～	
		食べたことがある又は知っている郷土料理～	食べたことのある郷土料理がある人の割合	知っている人の割合は増加傾向にある。食の継承に大切な味を知っている村民の増加を目指す。
		担い手（認定農業者）育成 個別、組織	個別、組織を合計で表示	どちらも認定農業者なので、合計して表示。
		信州の環境にやさしい農産物認証面積	認証取得人数	認証取得する農業者の人数が増えれば、面積も増えていくため。
		長野県原産地呼称管理制度認定米	削除	品質を認定するものであり、天候によって左右される。地産地消と結びつかない。
		エコファーマー認定者数	削除	基準の厳しい、信州の環境にやさしい農産物認証に移行している。
		有機JAS認証	難しい認証取得に取り組む農業者がいる。	

・地場産関連情報として、どんな情報が欲しいか？

買う側、売る側（栽培者）

→道の駅白馬の取り組みとして、どんな農産物がいつ頃入荷するか、カレンダーで表示している。

（白馬村は農産物の収穫時期が限られているため直売所に野菜が並ばない時期がある。）

（案）時期をずらした栽培で売り上げをあげている人がある。売れ筋品目や売れる時期を公表し、需要と供給を調整する。

直売所に出荷する際に、「白馬産」の表示（シール）をする。

農政課でできること

・情報提供、情報発信

→地産地消の意識は高いので、より知ってもらうことで、地産地消を推進していく。